

GO Next Driven.

第100期 株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで

バンダー化学株式会社

証券コード：5195

2022年度 通期の連結業績ハイライト

詳細はホームページに掲載されている情報をご覧ください。
<https://www.bandogrp.com/ir/>



売上収益

103,608百万円

前年同期比 **10.5%増**

コア営業利益

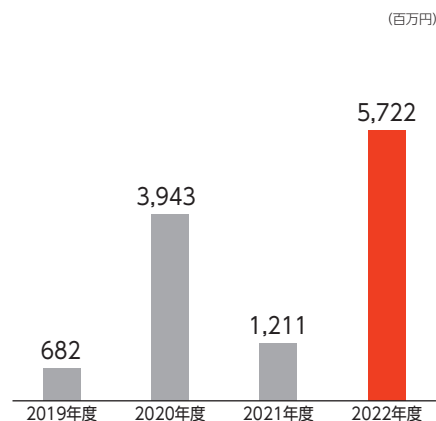
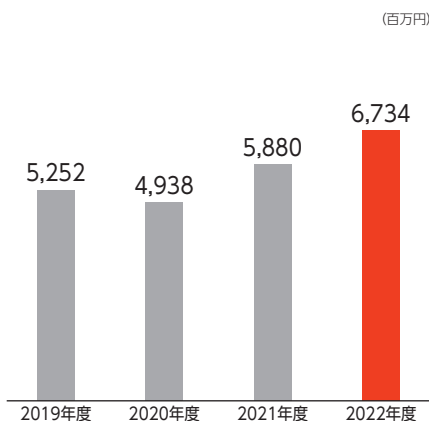
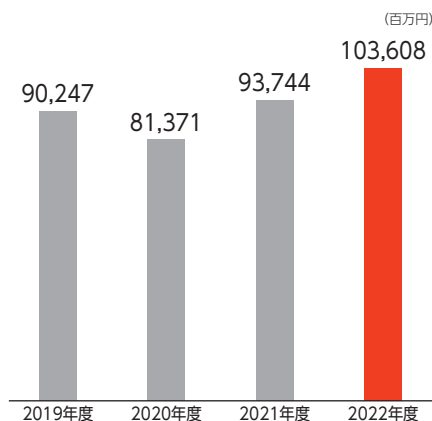
6,734百万円

前年同期比 **14.5%増**

親会社の所有者に帰属する当期利益

5,722百万円

前年同期比 **372.4%増**



(注) 1. 2019年度から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。 2. コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出しております。

POINT

- 売上収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた個人消費の回復などもあり、各国の自動車生産台数が総じて前年度を上回る状況で推移したことなどで増収。
- 原材料調達価格の高騰はあったものの、売上収益の増加や前年度に計上した一時的な費用の影響がなくなったことにより、コア営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益が増益。

2023年度 通期の連結業績見通し

売上収益

105,000百万円

前年同期比 **1.3%増**

コア営業利益

7,500百万円

前年同期比 **11.4%増**

親会社の所有者に帰属する当期利益

6,000百万円

前年同期比 **4.9%増**

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃は格別のご高配にあずかり、心より御礼申し上げます。第100期株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループを取り巻く外部環境は、自動車の電動化やAI技術の進化に加え、カーボンニュートラルをはじめとする社会課題への対応が求められるなど、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のなか、持続的な企業成長のために事業ポートフォリオを転換すべく、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”の最終年度として、「新事業の創出」、「コア事業の拡大」、「ものづくりの深化と進化」、「個人と組織の働き方改革」の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度は、売上収益は1036億8百万円(前年同期比10.5%増)、コア営業利益は67億3千4百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益は82億5千9百万円(前年同期比209.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は57億2千2百万円(前年同期比372.4%増)となりました。

今般、当社グループは、変化の激しい社会のなかで、自らの存在価値や目指す方向性を再確認し、新たな長期ビジョン(ビジョン2050)(人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER)を定めるとともに、その実現



代表取締役社長

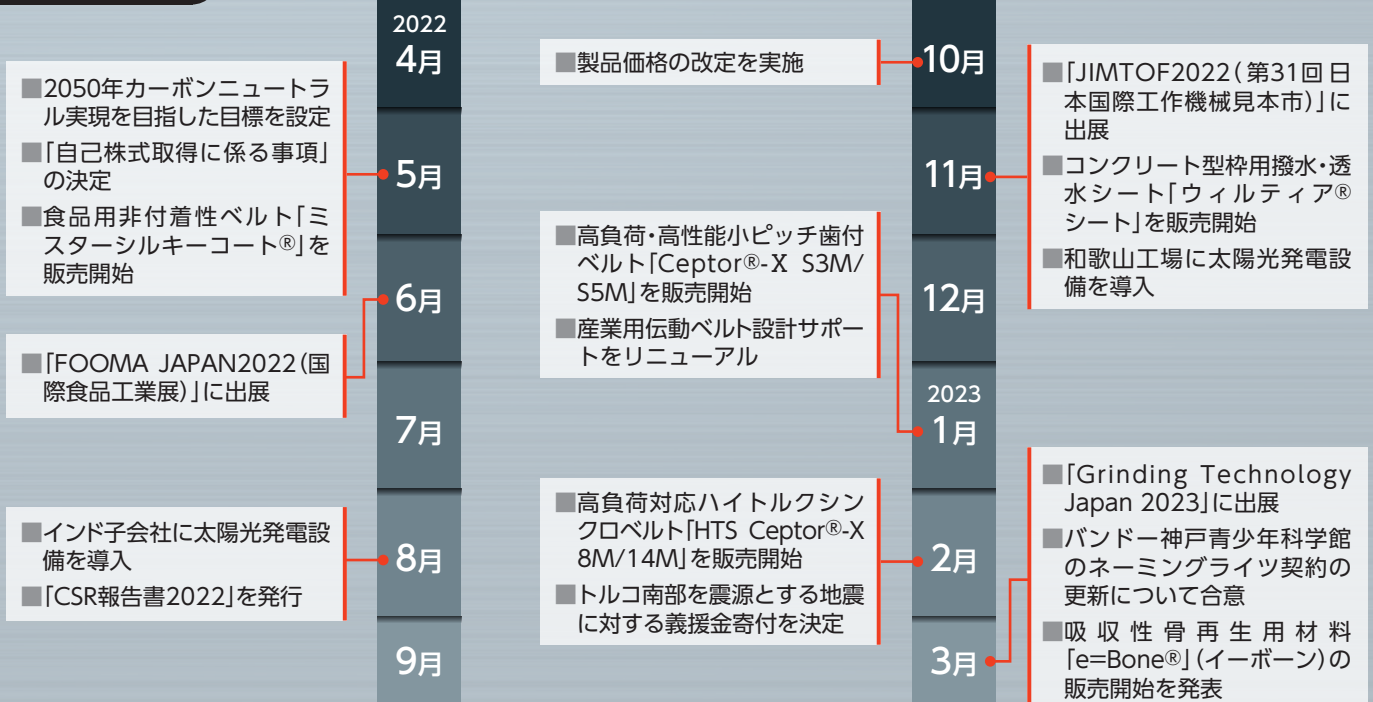
植野 富夫

に向けて、2023年度を初年度とする中長期経営計画“Creating New Value for the Future”を策定いたしました。

この中長期経営計画の第1ステージ(CV-1)におきましては、「価値創造」、「スマートものづくり創造」、「未来に向けた組織能力の進化」の3つの指針を掲げ、持続的な成長を果たし、人や社会にとってなくてはならないBEST PARTNERであり続けたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS



事業別の概況

自動車部品事業

売上収益 49,198百万円 前年同期比 17.6%増 ▲

セグメント利益 3,289百万円 前年同期比 20.0%増 ▲

- ▶国内では、自動車生産台数の回復にともない、補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)の販売が増加。
- ▶海外では、米国および中国において主要顧客の減産により、補機駆動用伝動ベルトなどの販売が減少。欧州においては新規顧客の開拓による補修市場向け製品の販売が増加し、アジア地域においても四輪・二輪車メーカーの生産が回復し補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加。

高機能エラストマー製品事業

売上収益 14,787百万円 前年同期比 5.6%増 ▲

セグメント利益 359百万円 前年同期比 28.3%増 ▲

- ▶機能フィルム製品は、国内における非住宅関連の需要回復もあり、建築資材用および装飾表示用フィルムの販売が増加。
- ▶精密機能部品は、主要顧客の生産回復もあり、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が増加。

産業資材事業

売上収益 35,352百万円 前年同期比 6.2%増 ▲

セグメント利益 3,218百万円 前年同期比 19.7%増 ▲

- ▶伝動ベルトは、国内では、民間設備投資の増加により産業機械用伝動ベルトの販売が増加。海外では、積極的な顧客開拓が奏功し、各国・地域において産業機械用伝動ベルトの販売が増加。
- ▶運搬ベルトは、国内においてコンベヤベルトの販売が減少。

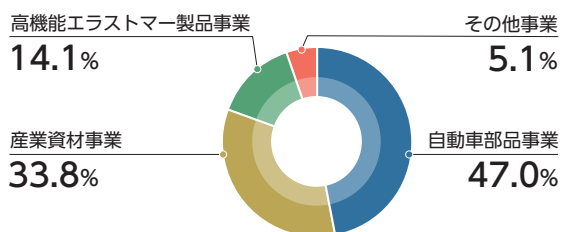
その他事業

売上収益 5,266百万円 前年同期比 5.2%減 ▼

セグメント利益 59百万円 前年同期比 80.5%減 ▼

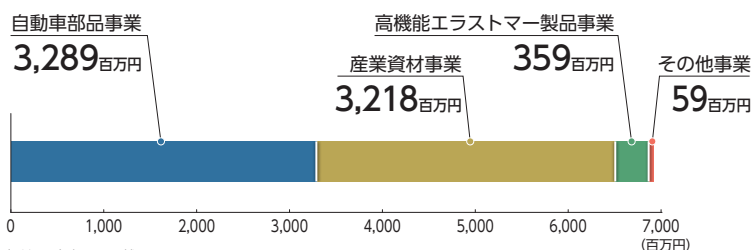
- ▶ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを展開しており、医療機器事業における主力製品の償還価格下落の影響もあり減収減益。

当連結会計年度のセグメント別売上収益構成



※上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

当連結会計年度のセグメント利益



2022年 5月

食品用非付着性ベルト 「ミスターシルキーコート®」を販売開始

食品搬送用途において、搬送物とベルトの非付着性を高めるなど、作業効率向上のために搬送以外の機能をベルトに付加するニーズが高まるなか、ベルト表面の高い剥離性と搬送物のベルト上での滑り性の両立を実現したベルトを開発し、販売を開始しました。



2022年 8月

インド子会社に 太陽光発電設備を導入

インド子会社であるBando (India) Pvt. Ltd.のバンガロール工場屋上に発電能力1,000kWの太陽光発電設備を設置しました。インドでは、急速な経済発展にともなう深刻な大気汚染といった社会課題を抱えており、太陽光発電設備を導入することで、CO2排出量の削減や有害物質の排出のないクリーンエネルギーの普及に貢献します。



連結財務諸表

▶ 連結財政状態計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2022.3.31)	当連結会計年度 (2023.3.31)
資産	流動資産	59,200
	非流動資産	57,180
資産合計	116,381	118,971
負債	流動負債	28,520
	非流動負債	15,432
負債合計	43,952	40,958
資本	親会社の所有者に 帰属する持分	72,133
	非支配持分	295
資本合計	72,429	78,013
負債および資本合計	116,381	118,971

▶ 連結損益計算書 (要旨)

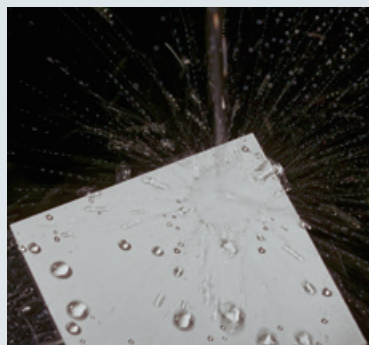
(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2021.4.1 から 2022.3.31まで)	当連結会計年度 (2022.4.1 から 2023.3.31まで)
売上収益	93,744	103,608
コア営業利益	5,880	6,734
営業利益	2,665	8,259
税引前当期利益	3,414	8,542
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,211	5,722

2022年 11月

コンクリート型枠用撥水・透水シート 「ウィルティア®シート」を販売開始

独自の撥水技術を活用したコンクリート型枠用撥水・透水シート「ウィルティア®シート」を開発し、テスト販売を開始しました。当製品をコンクリート型枠工事で用いることで、コンクリート打設時に発生する表面気泡の抑制による品質向上、繰り返し使用できることによる省資源化、さらには微粘着加工による施工性向上が期待できます。



る表面気泡の抑制による品質向上、繰り返し使用できることによる省資源化、さらには微粘着加工による施工性向上が期待できます。

2023年 3月

吸収性骨再生用材料「e=Bone®」 (イーボーン)の販売開始を発表

連結子会社である株式会社Aimedic MMTが、吸収性骨再生用材料「e=Bone®」(イーボーン)を2023年4月から販売することを発表しました。



新中長期経営計画

“Creating New Value for the Future”を策定

当社は、これからも、人の暮らしや地球環境にやさしい社会課題を解決する製品やサービスを持続的に提供し、人や社会にとってなくてはならないBEST PARTNERであり続けるために、2050年を見据えた新たな長期ビジョン(ビジョン2050)および2023年度から2030年度を最終年度とする中長期経営計画“Creating New Value for the Future”を策定しました。

長期ビジョン(ビジョン2050)

人と社会を支え、 今と未来をつなぐBEST PARTNER

BANDOは、人の暮らしや地球環境にやさしい社会課題を解決する製品やサービスを持続的に提供し、人や社会にとってなくてはならない“ベストパートナー”として、2050年を見据えた未来社会の実現につなぐ存在であり続けます。



中長期経営計画の全体像

2023年度から2026年度までを中長期経営計画“Creating New Value for the Future”の第1ステージ(CV-1)として、3つの指針の下、財務目標の達成を目指してまいります。

FY2023 ←----- CV-1 -----> FY2026 FY2027 ←----- CV-2 -----> FY2030 FY2050

人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER

『Creating New Value for the Future』 ビジョン

中長期戦略	指針1	価値創造 「共創」を軸に新規事業の進化とコア事業の深化を加速	価値創造 最適な事業ポートフォリオへ	共創 新規事業 コア事業
	指針2	スマートものづくり創造 バンドー夢工場への布石	夢工場モデルラインの実現 安全・安心で地球環境にやさしいものづくり	バンドー夢工場のグローバル展開 圧倒的競争優位の実現
	指針3	未来に向けた組織能力の進化 進化を支える土壌づくり	未来に向けた組織能力の進化 進化が連続的に起こっている	

売上収益	1,200億円
コア営業利益	120億円
R O E	12%

持続的成長へ

中長期目標

非財務指標 CO₂排出量 38%削減(2013年度比) カーボンニュートラルを実現する

▶株式の状況

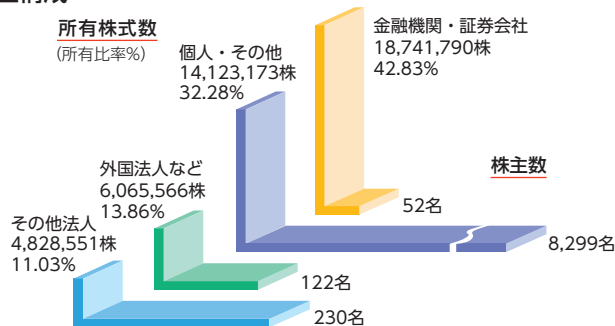
発行可能株式総数	187,000,000株
発行済株式の総数	47,213,536株 (自己株式3,454,456株を含む。)
株主数	8,704名

▶大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
バンドー共栄会	4,504	10.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,400	10.06
株式会社三井住友銀行	2,234	5.11
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.57
株式会社みずほ銀行	1,800	4.11
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,401	3.20
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,401	3.20
日本生命保険相互会社	1,174	2.68
東京海上日動火災保険株式会社	919	2.10

(注) 1. 当社は、自己株式を3,454,456株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は、自己株式を控除して算出しております。
3. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

▶株主構成



(注) 所有比率は、自己株式(3,454,456株)を控除して算出しております。

▶会社概要

社名	バンドー化学株式会社
	Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年(明治39年)4月14日
設立	1937年(昭和12年)1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
ホームページアドレス	https://www.bandogrp.com

▶役員 (2023年6月27日現在)

取締役

取締役会長	吉井満隆
代表取締役社長	植野富夫(社長執行役員)
取締役	柏田真司(専務執行役員)
取締役	染田厚(常務執行役員)
取締役	畑克彦(常務執行役員)
取締役(監査等委員)	中村恭祐(常勤)
社外取締役(監査等委員)	清水春生
社外取締役(監査等委員)	米田小百合
社外取締役(監査等委員)	富田健司

執行役員

常務執行役員	永瀬貴行
常務執行役員	松尾聡
常務執行役員	岡田勉
常務執行役員	八木尚史
執行役員	本田裕治
執行役員	野口忠彦
執行役員	川原英昭
執行役員	三木基史
執行役員	橘博之
執行役員	吉田良太

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.bandogrp.com ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上場取引所	東京証券取引所(プライム市場)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

個人投資家の皆様を対象としたIRメール配信サービスを行っています。

配信登録をいただいた皆様へ、最新のニュースリリース等、当社IRに関する情報をお知らせしています。メールアドレスをお持ちの方であれば、どなたでも無料で登録いただけますので、ぜひご利用ください。

登録先URL:https://www.bandogrp.com/ir/news_service.html

右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただいてもアクセス可能です。

※配信は当社の判断に基づいて行います。 ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
※株式会社マジカルポケットが提供するメール配信サービスを通じて配信しています。

